

「身近なくらしの中に活かす雑草を語る」

2021年12月11日(土) 13:30~16:30

「雑草」という言葉は、1828年に誌された「農業余話」に初めて記載されています。また、縄文時代の遺跡からは現在の雑草種子が多数出土しています。人間社会に寄り添って時代を生きてきた雑草ですが、資源として活用されたり生存権を奪われたり、さまざまな歴史を経て現在に至っています。それでは気候変動が激しくなり自然災害が多くなった昨今、雑草はどのような立ち位置で人間社会と共生しているのでしょうか？雑草の多様性を知ることが未来社会で役立つと思われまます。

折しも日本雑草学会は、1962年に「日本雑草防除研究会」として発足し、2021年には創立60周年という節目を迎えました。そこで、「創立60周年事業」の一環として、本学会学術研究部会「雑草利用研究会」が、身近なくらしに生きる雑草について、多彩な領域にて広く情報交換を行う目的で、記念シンポジウムを企画致しました。多数ご参加下さいますようご案内申し上げます。

会場

RSKイノベイティブ・メディアセンター
能楽堂ホール tenjin9(岡山市北区天神町9-24)

プログラム

13:00 開場

13:30 開会挨拶

日本雑草学会会長 内野 彰
雑草利用研究会代表 沖 陽子

13:40 基調講演

「グリーンインフラストラクチャーと気候変動」
小出兼久 (日本ゼリスケープデザイン研究協会代表理事)

14:40 休憩

14:50 パネルディスカッション 「生活の中で雑草を活かすとは？」

パネリスト 小出 兼久 (日本ゼリスケープデザイン研究協会代表理事)
伊東 秀之 (岡山県立大学保健福祉学部教授)
岡田 智子 (岡山市半田山植物園学芸員)
藤井 友視 (Jテラスカフェ店長)
モデレーター 沖 陽子 (雑草利用研究会代表・岡山県立大学)

16:20 開会挨拶

日本雑草学会シンポジウム委員会委員長 稲垣 栄洋



申込方法
~申込締切~
11月30日

事前に参加申し込みをお願いします。ウェブサイトからお申し込み下さい。会場定員100名、オンライン定員100名
※定員になり次第、締め切らせて頂きます。
<https://forms.gle/tjQm3AGq1gvDWvAZA>



連絡先

日本雑草学会雑草利用研究会事務局 岡山大学環境理工学部内
TEL&FAX: 086-251-8871 (中嶋佳貴宛)

主催:一般社団法人 日本雑草学会 (企画:学術研究部会雑草利用研究会)
共催:中国・四国雑草研究会/児島湖流域エコウェブ 後援:RSK山陽放送

○会場案内図



RSKイノベティブ・メディアセンター
所在地：岡山市北区天神町9-24



能楽堂ホール tenjin9 (岡山市北区天神町 9-24)

「アクセス」

- JR 岡山駅から徒歩約 15 分
- 路面電車／「東山」行き約 5 分、「城下」下車、徒歩 2 分
- 宇野バス／「片上方面 瀬戸駅 四御神」行き、「表町入口」下車、徒歩 2 分
- 岡電バス／「藤原団地」行き、「美術館前」下車、徒歩 1 分
- 循環バスめぐりん／「表町入口」下車、徒歩 2 分
- * 施設内には来場者用駐車場はございませんので、周辺の有料駐車場をご利用下さいますようお願い致します。

○会場来場参加申込書 (FAX:086-251-8871)

→この用紙を使って雑草利用研究会事務局宛に FAX で 11月30日までに
お申し込み下さい。

お名前	
ご連絡先	住所: TEL&FAX:
ご所属	
	いずれかに○をつけてください。 ・一般 ・学生 ・日本雑草学会会員

この申込書に記載された情報は、他の目的に使用致しません。